

Society 5.0実現に向けた 政府研究開発投資の拡充を求める

**2016年11月15日
一般社団法人 日本経済団体連合会**

提言のポイント

**成長戦略の中核たる「Society 5.0」の実現に資する
「対GDP比1%の政府研究開発投資」に向けた具体的道筋を提言**

**アベノミクスの成果等を通じた2,500億円規模の新規予算確保
(諸外国の政府科学技術予算※と同水準を目指し拡大)**



**総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)を司令塔とした、
「Society 5.0実現官民プロジェクト」実行**



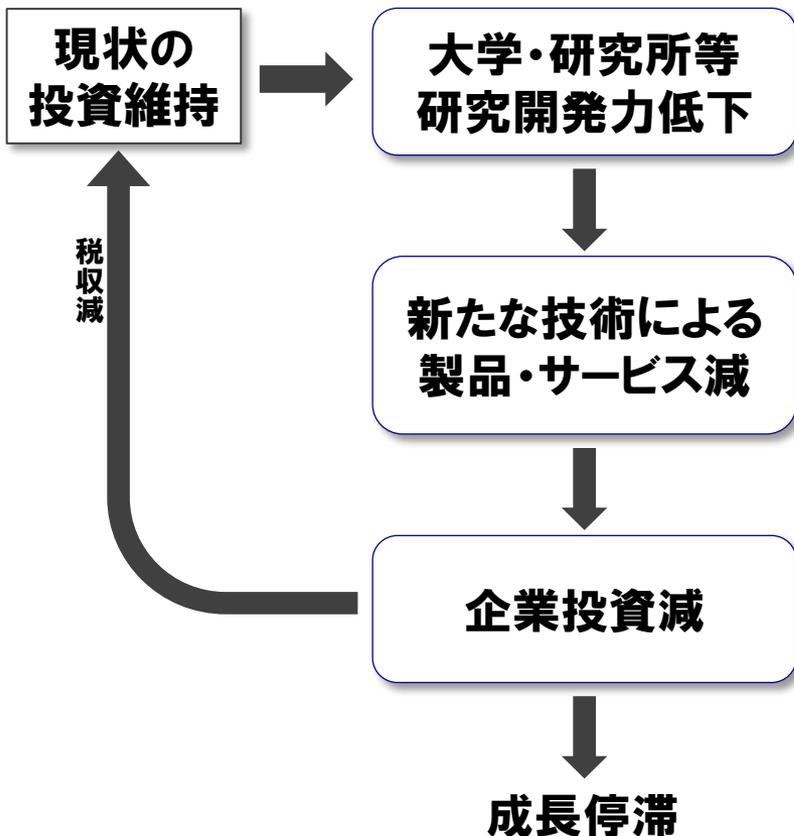
**世界に先駆けてSociety 5.0を実現し、
2020年度において計30兆円規模の付加価値を創出**

※文部科学省の調査によると、2000年度から2014年度にかけて各国の政府研究開発関係予算は、中国は約10倍、韓国は約4.5倍、米国・ドイツ・英国は約1.5倍程度に拡大しているが、わが国は1.1倍程度の拡大に留まっている。

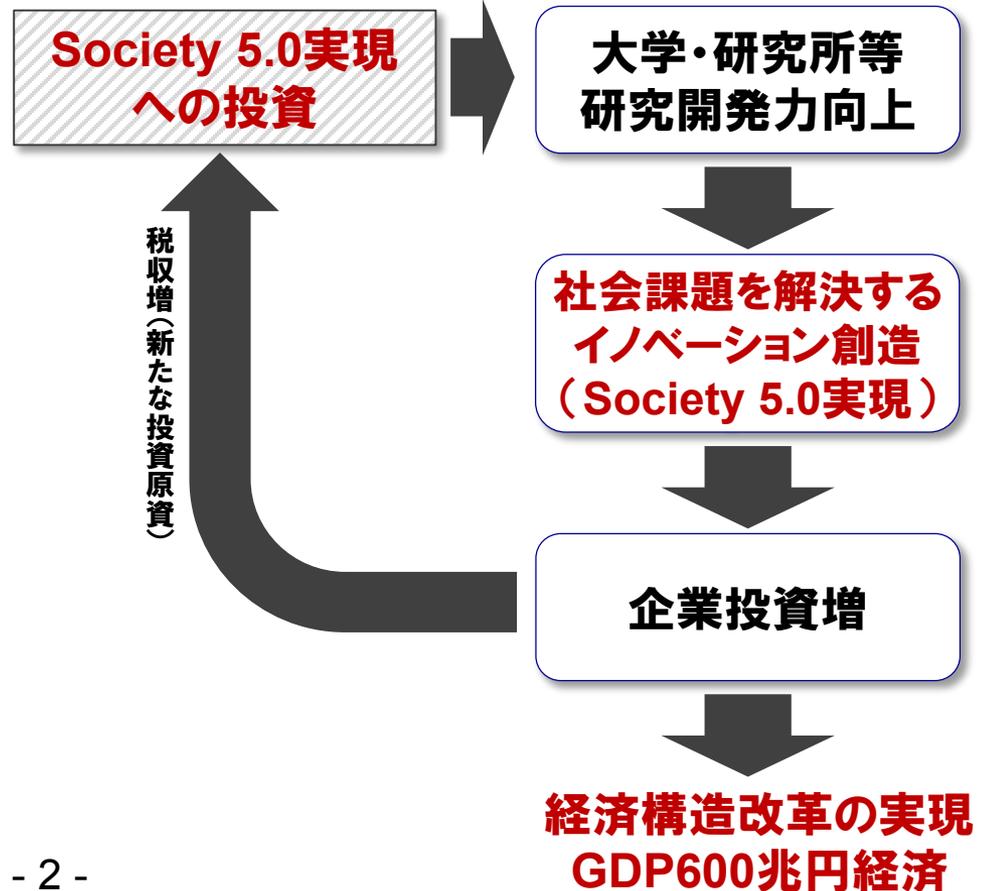
Society 5.0に関する基本的な考え方

都市や地方、ものづくり、健康・医療、インフラ等を取り巻く
構造的な社会課題の解決を通じ、経済構造改革・好循環を実現

現状放置



Society 5.0実現を通じた好循環



Society 5.0にかかる検討状況

政府

- **未来投資会議**

(議長 安倍首相, 成長戦略の新たな司令塔として「産業競争力会議」と「未来投資に向けた官民対話」を統合して設立。)

- **経済社会・科学技術イノベーション活性化委員会**

(会長 榊原経団連会長, Society 5.0実現に向けた研究開発投資等を議論すべく「経済財政諮問会議」と「総合科学技術・イノベーション会議」の共管で設立)

- **総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)**

経団連

- **未来産業・技術委員会 Society 5.0実現部会**

(イノベーション関係の5委員会※の部会長を構成員として設立。企業間での協調等を通じたSociety 5.0実現に向けた具体策を検討)

※未来産業・技術委員会、知的財産委員会、情報通信委員会、産業競争力強化委員会、起業・中堅企業活性化委員会

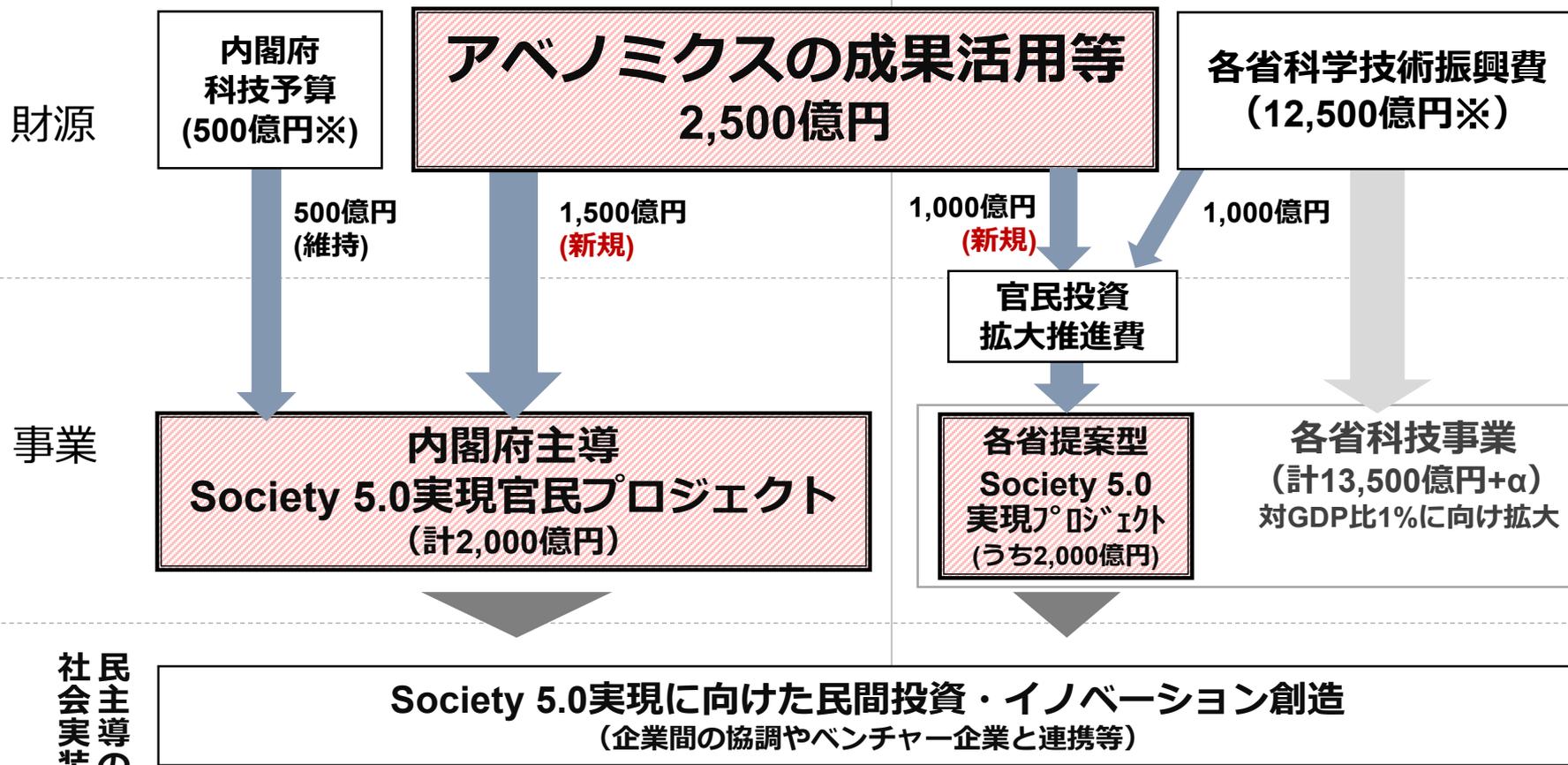
Society 5.0が目指す世界(Society 5.0実現部会で検討中)

	現状(課題)		Society 5.0の世界
都市	<ul style="list-style-type: none"> 過密、都市交通の混雑(環境負荷の拡大) 犯罪やテロの増加 少子高齢化 	➡	<p>都市経営の見える化や街全体の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市経営の高度化(社会インフラ共通プラットフォーム) 防犯・防災(センサデータや防犯カメラデータの分析等) 交通サービス向上・都市混雑の緩和(〃)
地方	<ul style="list-style-type: none"> 地域発展の担い手不足 農業、保育、防災等の産業形成の難易度が高い公益的社会的基盤の不足 	➡	<p>「農業・保育・防災」等の地域社会の存立課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て環境の充実(見守りロボット・自動運転送迎) 防災・減災の拠点形成(燃料電池・ビッグデータ予測) 農業の生産性向上(遠隔運転農機・画像認識) 等
ものづくり	<ul style="list-style-type: none"> 独Industrie 4.0を始めとするグローバルな生産プラットフォーム覇権競争 担い手不足(特に中小) 	➡	<p>世界で最もスマートなものづくりシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の産業競争力を確保するプラットフォーム・エコシステム構築(生産現場や顧客等の全てをつなぎ、日本の強みである生産技術を生かす)
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> 社会インフラ(特に公的インフラ)の著しい老朽化 新興国を中心とした高い建設需要 	➡	<p>インフラの生産性革命(設計から維持管理まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人・機械・建物等の維持管理最適化(モニタリング) 現場業務分析、施工計画自動化(AIでのデータ分析) 施工ロボット化(ヒト・モノへのフィードバック) 等

⋮

Society 5.0実現に向けた政府投資

計2,500億円の科学技術関係予算を新規に確保し、
Society 5.0の実現に向けて大胆に投資すべき

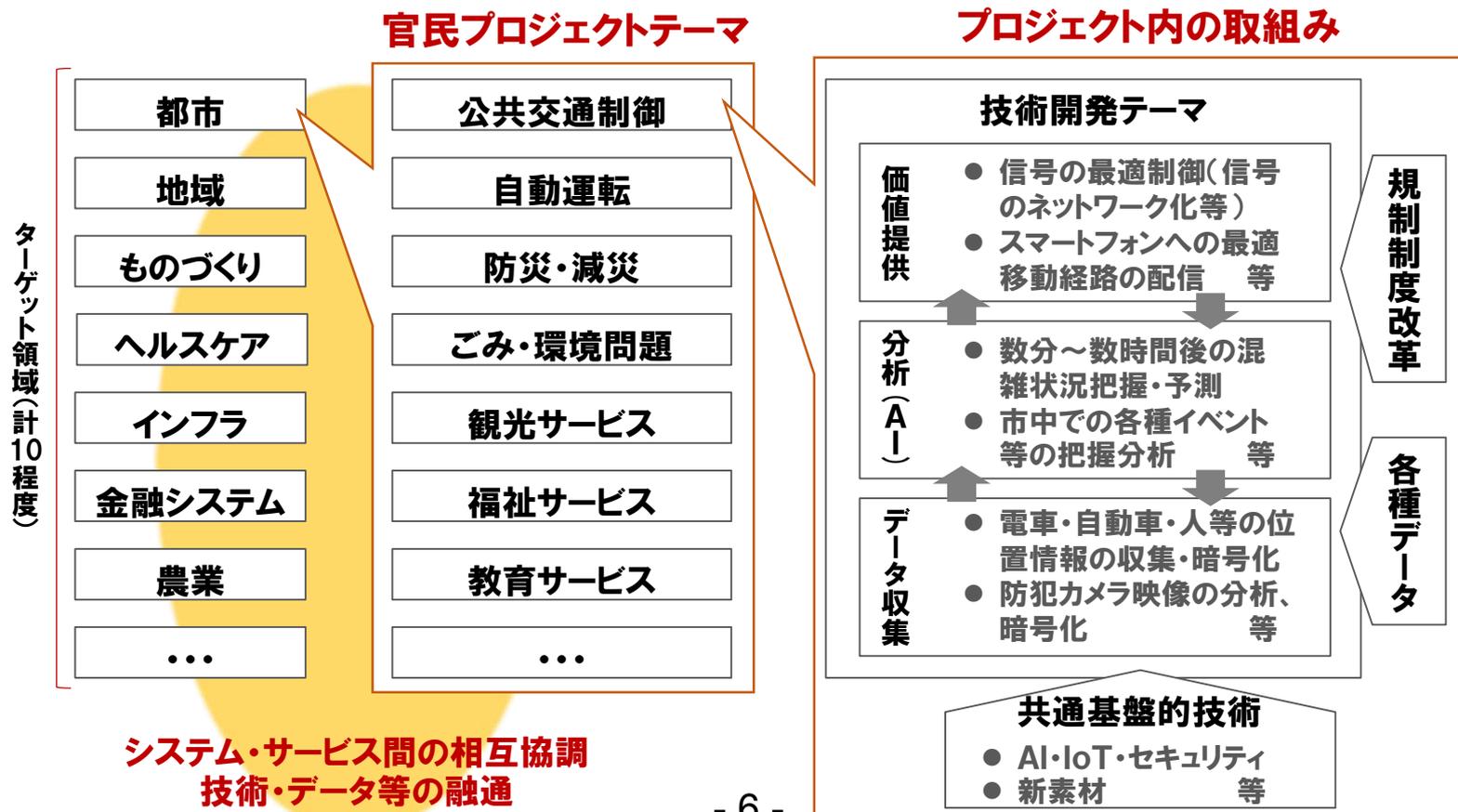


2020年度において計30兆円規模の付加価値創出

Society 5.0実現官民プロジェクトのイメージ

- 産学官で国家戦略として推進すべき「ターゲット領域」「テーマ」を定め、技術開発から社会実証までの全体を見渡したプロジェクトを展開
- 10件程度のターゲット領域を設定し、各領域内で10テーマ程度を推進

Society 5.0実現官民プロジェクトのテーマの考え方



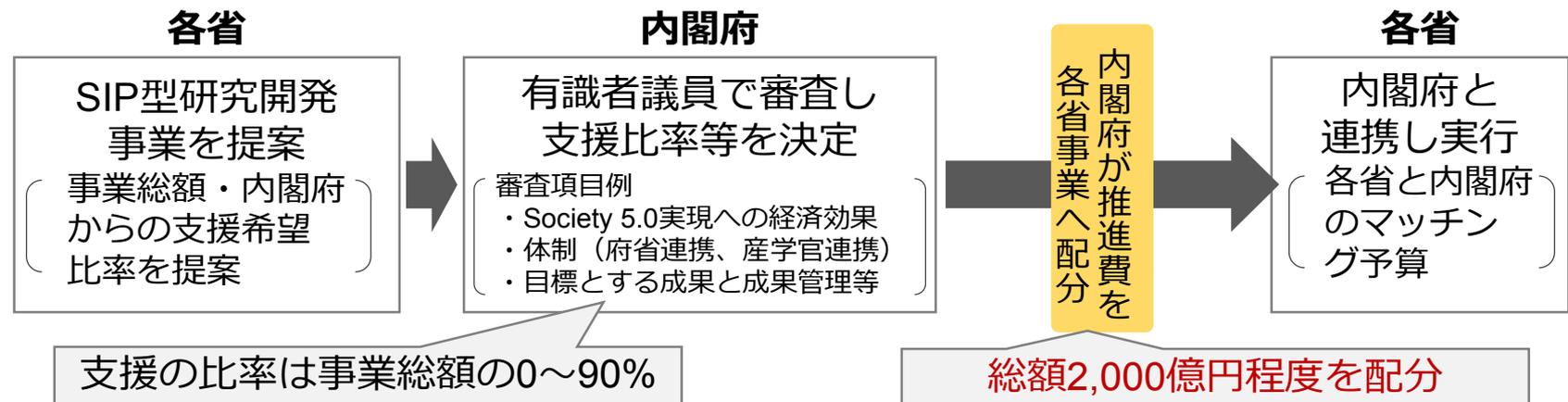
Society 5.0実現官民プロジェクトのスキーム

- 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議の「主導型」と「各省提案型」の2本立てで実行し、幅広い研究開発事業をSociety 5.0関連分野に誘導

① 内閣府主導型プロジェクト

	戦略的イノベーション創造型	革新的研究成果創造型	
		①課題解決	②研究者最優先
形式	SIP※1	ImPACT※2	FIRST※3
対象	社会実装に向けた戦略的研究	ハイリスク・ハイインパクトな研究	
組織	PDによる府省・産学官連携	PM中心の運営	研究者中心型

② 各省提案型プロジェクト



※1：戦略的イノベーション創造プログラム

※2：革新的研究開発推進プログラム

※3：最先端研究開発支援プログラム

産業界としての取り組み

**Society 5.0実現に向けた民間投資の拡大や
イノベーション(革新的技術の社会実装)を推進**

■ 企業間協調

Society 5.0実現に資する企業間での「協調領域」を拡大

■ 産学官連携

**大学・研究開発法人との連携を強化。
産学共同研究への投資を2025年までに3倍に拡大することを目指す**

■ ベンチャーとの連携

高い技術を持つベンチャーとの投資・調達・人材交流等の拡大